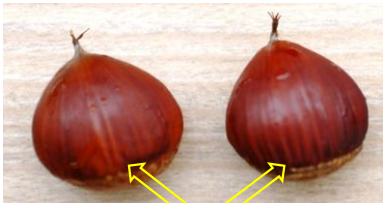


渋皮が剥(む)けやすいニホングリ「ぽろたん」

「ぽろたん」は、渋皮が剥けやすいというこれまでのニホングリにない特長を持っていますが、表面の皮(鬼皮)にシワが寄り見栄えの悪い実がありました。調べたところ、中身はほぼ同じで、16g以下の小さい実に「シワ果」が多く発生することがわかりました。

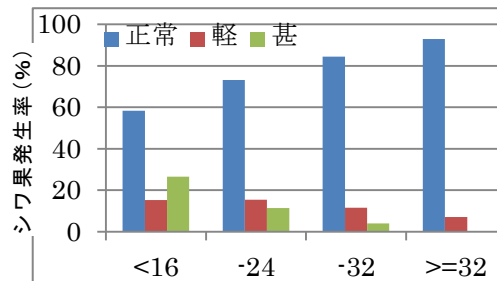
また、間違っって渋皮が剥けない他の品種が混じってしまうと、安心して利用できなくなります。このため、同じ時期に収穫される「国見」や「丹沢」と「ぽろたん」の実を、鬼皮と座の境目の「ざらつき」を触って見分ける方法と、実の座の幅を比較する方法を開発し、区別できるようにしました。

1 「ぽろたん」のシワ果



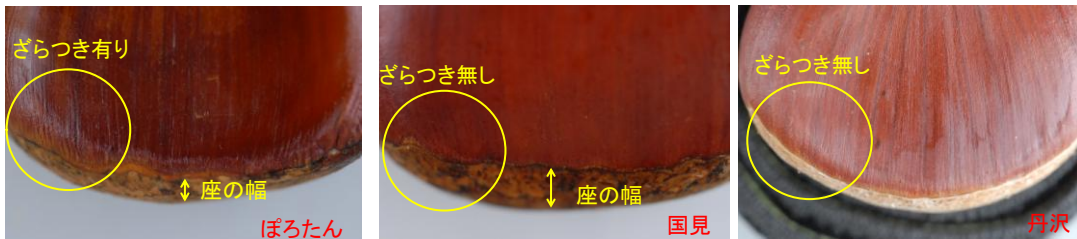
シワ重症
鬼皮の表面に深いシワが見られる

「シワ果」でも渋皮の剥けやすさは良好で、品質にも大きな差はありません。



「シワ果」は、16g以下の小さい実に多く発生します。

2 「ぽろたん」の見分け方

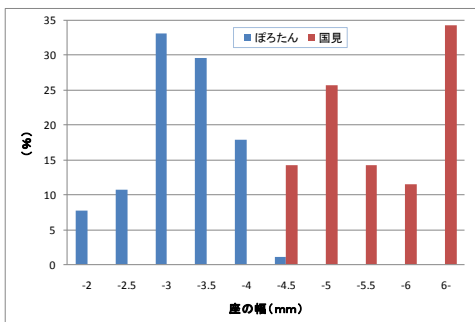


(1) 鬼皮の「ざらつき」で見分ける

鬼皮の接線に接する部分に「ざらつき」の有る「ぽろたん」と「ざらつき」の無い「丹沢」「国見」を高精度で識別できます。

鬼皮の接線周辺に「ざらつき」の有る割合 (%)

産地	品種		
	ぽろたん	丹沢	国見
埼玉	100	2	1
茨城	96	0	3
熊本	97	0	2



(2) 「座の幅」で見分ける

外グリでは座の幅が4mm以下、中グリでは2.5mm以下(図略)の果実はすべて「ぽろたん」で、「国見」は混じりません。